

新型コロナウイルス感染症対策について

2020年6月20日作成

2021年4月13日改訂

1. 感染予防に向けた当店の取り組み

- ① スタッフからの感染を防止するために
 - ・ スタッフは毎日の検温を含む自身の体調管理を徹底しています。また、可能な限り鼻と口を完全に覆う適切なマスクを着けて対応し、手洗いも定期的に行っています。
 - ・ 施設の入り口に手指消毒用のアルコール消毒液を設置し、施設に入場する場合には、それによって手指の消毒を行っています。
 - ・ スタッフの家族等、同居者に感染者や感染者への接触があることが判明した場合は、当店のプログラム開催は自粛させていただきます。
 - ・ 長時間の対面接客は避け、お客様と接する際の距離は最低 1メートル以上、できれば 2メートル確保するよう努めています。
- ② 施設等の清掃・消毒
 - ・ ドアやテーブルなど複数の人の手が触れる場所の清掃・消毒は頻回に行い、その他の場所についても、もれなく清掃・消毒をしています。
 - ・ 送迎や移動で使用する車両は、毎回使用後、清掃・消毒をしています。
 - ・ レンタルで使用する器材のうち、直接口をつける部分(マスク・スノーケル・レギュレーター、BCD、オクトパスなどの各マウスピース部分等)はお客様が使用するたびに器材メーカー等が推奨する薬剤もしくは家庭用洗剤等を用いて洗浄・消毒し乾燥させています。また、皮膚への接触があるレンタル器材(ウェットスーツやブーツなど)は水洗いし乾燥させています。
- ③ 換気対策
 - ・ 店舗内の換気を行うため可能な限り複数の窓を開けています。また、時間を決めて室内の空気を完全に入れ替えるような全換気をしています。
 - ・ 車両での移動中はエアコン使用時も定期的に窓を開けて頻繁に換気しています。
- ④ 予約制の徹底
 - ・ クラスターを作らないためにお客様の予約制を徹底し、可能な範囲で店内の人数を制限した運営を行っています。

2. 皆様に安心してご利用いただくためのお願い

【ご利用前】

感染リスクを最大限抑え、安全で楽しくダイビング・スノーケリングをお楽しみいただくために以下について、ご理解とご協力をお願いいたします。

- ① 体調についての申告
 - ・ 体調が悪い状態でのプログラムへの参加はご遠慮ください。
 - ・ 体温など毎朝チェックしていただき、不調がある場合は集合時間までにご連絡ください。
 - ・ 来店当日に体調がすぐれないお客様はご遠慮なくスタッフまでお申し出ください。
 - ・ プログラム催行の際に、本日の体調チェックと直近の海外渡航歴の有無や新型コロナウイルスの感染の恐れのある場所への出入りがあるかどうかお聞きする場合があります。

- ② 次の症状がある方等、該当する点があるお客様はご来店をお控えください。
- ・ 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状がある方。
 - ・ 重症化しやすい方(※)で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある方。(※)高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方。
 - ・ 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が4日以上続く方。
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある方。
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる方。
 - ・ 入国後の観察期間を必要と発表されている国・地域等への渡航、並びに当該在住者との濃厚接触がある方。
 - ・ 嗅覚・味覚に異常を感じる方。
 - ・ その他新型コロナウイルス感染の可能性のある症状がある方

【ご利用中】

- ① 飛沫感染・接触感染を避けるために
- ・ 基本的な感染症対策(手洗いや咳エチケットなど)を徹底してください。
 - ・ 手洗いなどこまめに実施してください。
 - ・ 施設内に備え付けのアルコール消毒液はご遠慮なくご利用ください。
 - ・ 可能な限り鼻と口を完全に覆う適切なマスクの着用をお願いします。
 - ・ スタッフや他のお客様と接する際の距離は最低1メートル以上、できれば2メートル確保してください。
 - ・ 共有物にふれる機会をできるだけ減らす努力をお願いします(筆記具やティッシュなど、できるだけご持参ください)。
 - ・ 他人の器材、荷物には触れないようにしてください(特にマスク・スノーケル・レギュレーター・タオルなど顔に触れるもの)。
 - ・ ダイビング・シュノーケリングで使用するマスクの曇り止めは唾などではなく市販の曇り止め等をご使用ください。
 - ・ 着用したマスク、レギュレーターなどの器材は、自身のメッシュバッグなどに入れてください。また、本人以外が触れた場合は使用する前に消毒してください。消毒液はスタッフが持参しておりますのでお申し出ください。
- ② 体調について
- ・ プログラム催行中に体調が悪くなったり、気分が悪くなった場合には、ご遠慮なくスタッフまでお申し出ください。
- ③ お持ちいただくものについて
- ・ 海浴いは風が強い時もあり、寒暖差があります。体温調整ができるよう上着等をご準備ください。
 - ・ 基本的に、飲み物についてはご自身でご用意ください。他のお客様の飲み物を入れるなども、お控えください。
 - ・ バスタオルなどはご自身でご用意ください。
- ④ 施設の利用時について
- ・ ブリーフィン・ログ付け等は最小限の時間で、密室を避けできるだけ屋外で行います。
 - ・ 手洗い時には備え付けのペーパータオルや個人用のハンカチをご利用ください。
 - ・ トイレで水を流す際は、飛散防止の蓋を閉めてから流してください。
 - ・ プール・海をご利用時に更衣室が混みあっていて、ソーシャルディスタンスの確保が難しい場合は、時間をずらしたり、空いている更衣室をご利用ください。また、更衣室内でマスク着用ができない時の会話はお控えください。
 - ・ スーツを着用したままご利用いただけるお風呂をご利用の際にも、ソーシャルディスタンスを確保できるようにご配慮ください。また、マスクを着用していない時の会話はお控えください。
 - ・ 器材の洗い場では共用の水槽に器材を浸けることを避け、流水で洗う、または持ち帰って洗うことをお勧めします。

⑤ 移動手段とご旅行中について

- ・ 車両での移動に関して、少しでも感染リスクを減らしたいお客様は、マイカーまたはレンタカーのご利用をお勧めいたします。現地集合でのご予約も可能です。
- ・ 宿泊施設及び、ご旅行(滞在)中の食事などの際、多くの人の集まるところへはできるだけ行かないようにし、でかける際は感染防止用のマスクなどの着用及び、ソーシャルディスタンスの確保、手指消毒などを怠らない様お気を付けください。

【ご利用後】

- ・ 当店ご利用後、2週間以内に新型コロナウイルスに感染していることが判明した場合は速やかに当店までお知らせください。
- ・ 保健所からの通知や本人からの通告により、当店において新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した場合、保健所の指示に従って休業を決定し、関連しているお客様にもご連絡させていただきます。



ダイバーにできる 8つの新型コロナウイルス感染対策

新型コロナウイルス感染症は、感染者から飛散した粒子を吸い込むことによって感染します(飛沫感染)。また、感染者が触れたり、咳やくしゃみのかかった物体表面に触れた手で、目や鼻、口に触れることでも感染することが確認されています(接触感染)。この二つの感染経路を理解していれば、感染のリスクを容易に抑えることができます。シンプルに対応方法を整理して、感染を防ぎましょう。

- 1.** 何らかの症状がある場合や、感染者に接触した可能性がある場合は、**ダイビングをしてはいけません。健康になるまで自主的に隔離し、適切な医療アドバイスに従ってください。**
- 2.** 適切なスペースを保ちましょう。水面や陸上では、少なくとも地域で推奨されている距離を保って行動することを心がけます。
- 3.** **手洗いと消毒をしましょう。**自身の器材を含めて、器材を触る前後には必ず手を洗い、消毒します。これは水中で器材に触れた場合も同様です。他のダイバーの器材にはできるだけ触れないようにしてください。水中で新型コロナウイルスの感染力が弱まるかどうかについては判明していないので、「きっと感染力が弱まるだろう」という勝手な判断は避けるべきです。
注意：推奨される手指用の消毒液の多くは60%以上のアルコールが含まれており、可燃性です。酸素や火元の近くで消毒をするのは危険です。また、酸素や火を扱う前に手が完全に乾いているかを確認してください。
- 4.** **会話をするときは医療用マスクをしましょう。エチケットです。**医療用マスクは思いやりの証です。陸上でのコミュニケーションには医療用マスクを使用してください。
- 5.** **水面ではマスクとレギュレーターを使いましょう。**水面でスクーバ用マスクを着用することは目と鼻からの飛沫感染を防ぎます。また、レギュレーターから呼吸することで飛沫を吸い込むこともないので、感染リスクが減少します。
- 6.** **清潔なダイバーになりましょう。**くもり止めには市販品を使い、マスク、スノーケル、レギュレーターやBCDは保管する前・使用する前に必ず消毒します。ダイビングの後に鼻をかんだり、うがいをする場合は適切な場所で行ない、他のダイバーがいる場所は避けます。使ったティッシュなどは適切に廃棄しましょう。また、手すりやドアノブなどの多数の人が触れる部分に触れた後は必ず手を洗って消毒してください。
- 7.** **水面で他のダイバーの呼吸を吸ったり吸わせたり、空気を「シェア」しないように気をつけましょう。**水面の状況や風向きによっては、自分が吐いた息が他のダイバーにかかってしまうことがあります。特にスノーケルをクリアするときや、フリーダイビングの後に呼吸するときなど、息がかかってしまわないように、他のダイバーとお互いに気をつけましょう。レギュレーターを使っているダイバーは安全ですが、他のダイバーには吐いた息がかかる可能性があるので注意が必要です。
- 8.** **水中では、エアをシェアしないとイケない重要な場面があるかもしれません。**ですから、バックアップ空気源は一度消毒した後の動作確認はバーシボタンで行ないましょう。バックアップ空気源を使用した場合は、必ず消毒してください。



Seek Adventure. Save the Ocean.™